

コレオプシス

- 分類：キク科ハルシャギク属 一年草及び多年草
- 別名：キンケイギク
- 原産地：南北アメリカ

【種類と特徴】

キンケイギク *Coreopsis basalis* (*C. drummondii*) : 一年草。舌状花の周辺が黄色、基部が黄褐色の蛇の目で、筒状花は黄色。花径は3~4cm。蕾の中央が少しとがって見えます。葉は対生で、羽状分裂します。

ハルシャギク *Coreopsis tinctoria* : 一年草 (半耐寒性)。北アメリカ原産。鮮黄色の花弁の基部に褐色の大きな蛇の目が入るのが特徴です。矮性で、蛇の目のない改良品種もあります。

オオキンケイギク *Coreopsis anseolata* : 耐寒性多年草で、キンケイギクより大型。アメリカ東部原産。花径は5cmほどで、花びらに切れ込みがあります。蕾の形が少し平らになっています。注※繁殖力旺盛で特定外来生物に指定され、法律で移動、栽培、譲渡、販売など禁止されています。

コレオプシス・グランディフロラ *Coreopsis grandiflora* : 多年草。アメリカ南部原産。濃黄色の花が多数咲きます。八重咲き種もあります。本種はキンケイギクの名で流通していますが、和名のキンケイギクは別種 *C. basaris*。

コレオプシス・ロゼア *Coreopsis rosea* : 多年草。北アメリカ東部原産。舌状花が淡桃~桃色で、コスモスを小型にしたような感じ。葉は線形で、基部の葉は分裂して細く線状。高さ30~60cm

イトバハルシャギク *Coreopsis verticillata* : 半耐寒性多年草。北アメリカ原産。花は濃黄~淡黄色で、舌状花は8枚。頭花は径5cmほど。葉は線形あるいは糸状に分裂して大変細く、輪生。高さ90cmくらいになりますが、矮性品種もあります。本種はしばしば宿根コスモスの名で販売されています。

初夏から晩秋まで長い間花が咲きます。暑さ、寒さに強く丈夫で育てやすいです。複数株まとめて植えると見栄えがします。

【株の選び方】

堅く締まった生育をし、蕾の数の多い株を選びます。下葉が蒸れて枯れたものは避けます。

【置き場所】

日当たりのよい場所を好みます。多湿を嫌うのでできるだけ水はけと風通しの良い場所を選びます。

【水やり】

鉢植えの場合、土の表面が乾いたら水を与えます。乾燥には強いですが、過湿は嫌います。

【開花中の管理】

咲き終わった花は摘み取ります。草丈が高くなるものは倒れないように支柱を立てておきます。

【植え替え】

一年草タイプのもは花後に枯れてしまうので一度植え付けたら植え替えをする必要はありません。多年草の鉢植えの場合、鉢がいっぱいになったら、10~11月頃に一回り大きな鉢に植え替えます。同時に株分けを行っても良いでしょう。

【殖やし方】

一年草タイプは種まきで、多年草タイプは株分けで増やします。

種まきの適期は秋9月中旬~10月で、発芽温度は20℃前後です。気温が高い時期にまくと発芽しにくいので気をつけましょう。発芽して本葉が数枚出てきたら庭や鉢に植え付けます。庭植えの場合は20cmほどの間隔で植え付けます。鉢植えの場合はやや詰め気味に植えた方が、花が咲いたときにボリュームが出ます。

株分けは春暖かくなり生長を始める直前か、花が咲き終わった後の晩秋が適期です。大きく育った株を掘り上げて根をほぐしながら子株に分けそれぞれを植え付けます。また挿し芽をとって殖やす方法もあります。

【肥料】

移植後活着すれば、緩効性肥料を少し施します。多肥は避け、生育状況を見て、液肥を与えます。

【病虫害】

春先から新芽やつぼみにアブラムシが発生しますので見つけしだい駆除します。

春や秋の低温時期に長雨が連続とべト病が発生することがあります。べト病にかかると葉に黄色い斑点ができてやがて黒ずんで葉が枯れてしまいます。被害にあった葉は取り除き、早めに殺菌剤を散布します。梅雨時、うどんこ病に注意します。茂り過ぎると発生するので風通しをよくするために枝を間引いたり、コンパクトにするために枝先を剪定します。